

前橋市歯科医師会 学術講演会のお知らせ

日時：2019年11月9日(土) 19:00～21:00

会場：前橋市総合福祉会館 3階 第2会議室

前橋市日吉町2-17-10 TEL027-237-0101

演題：豹変するバイオフィルム

最新病因論に基づいた歯周治療と歯周管理

講師：大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座

予防歯科学 教授 天野敦雄先生

講演内容

- ◆ 21世紀の歯科医療には「削る・詰める」に加え、「防ぎ・守る」歯科医療の実践が求められています。健口を守るためには、歯周病との対峙が不可欠です。そのためにはバイオフィルムのバイオロジーをアップデートしないといけません。
- ◆ 歯周病菌は18歳以降に口腔内に感染します。その後、歯周局所環境の変化とともに長い年月を掛けてバイオフィルムの病原性は徐々に高まり歯周炎が発症します。バイオフィルムが豹変する現象をMicrobial shiftと呼びます。歯周病だけでなく、う蝕の原因もバイオフィルムのMicrobial shiftです。歯周病の病因論を正しく理解できれば、無駄のない確度の高い歯周治療ができます。
- ◆ 患者さんによってバイオフィルムの病原性は違います。同じ患者さんでも、バイオフィルムの病原性は一定ではありません。そのメカニズムを知り、バイオフィルムの病原性をコントロールできれば、「防ぎ・守る」バイオフィルム管理ができます。
- ◆ 最新の歯周感染論に基づいた歯周治療・バイオフィルム管理についてお話させて戴きます。院長先生に限らずたくさんの歯科衛生士さんにもお聞き頂き、明日からの臨床に役立てて頂ければ幸いです。

講演項目

1. 歯周病のバイオロジー:なぜ歯周病は起こるの？
2. 歯周治療のバイオロジー:目標はポケットを浅くすることですか？
3. 歯周管理のバイオロジー:できる歯科衛生士をどう育てる？
4. 感染性歯周炎と不潔性歯周炎のバイオロジー:目標は100%磨き？
5. 患者指導もバイオロジー:合点がいけば人は動く！

参考文献

1. 天野敦雄:歯科衛生士のための21世紀のペリオドントロジーダイジェスト.クインテッセンス出版,2015.
2. 天野敦雄:天野ドクターの歯周病絵本 バイオフィルム公国物語.クインテッセンス出版,2019.

略歴

1984年 大阪大学歯学部 卒業
1987年 大阪大学歯学部 予防歯科学教室 助手
1992年 ニューヨーク州立大学歯学部 博士研究員
1997年 大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師
2000年 大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 教授
2015年 大阪大学大学院歯学研究科長・歯学部長(2019年3月末まで)
現在に至る